



令和4年4月8日
～美ら島の未来を拓く～
内閣府沖縄総合事務局

事業用CEVの活用モデル構築のためのオンラインセミナー ～持続可能な地域交通の実現に向けて～

地球温暖化対策は待ったなしの課題であり、2050年カーボンニュートラルの実現を見据え、グリーン社会の実現に向けて戦略的に取り組む重点プロジェクトを、国土交通省では「国土交通グリーンチャレンジ」として昨年7月に取りまとめたところです。

こうした中、沖縄においても、電動バスやグリーンスマートモビリティ等の事業用CEVを観光振興や環境保護等に活用したモデル構築を推進するため、学識者のほか、既にCEVを導入されている事業者から当事者ならではの事例を発表いただき、あわせて事業用CEVの導入に関する支援策を紹介するオンラインセミナーを開催します。

※CEVとは”Clean Energy Vehicle”的略で、日本語では「クリーンエネルギー自動車」

1. 開催概要

主催：内閣府 沖縄総合事務局 運輸部

日時：令和4年4月22日（金）14時00分～16時20分

2. プログラム

(1) 開会

主催者挨拶 内閣府沖縄総合事務局運輸部長 米山 茂

(2) 基調講演：琉球大学名誉教授 堤 純一郎

『沖縄における脱炭素社会実現のための運輸部門のチャレンジ』(40分)

(3) 沖縄県内の企業による事例紹介

・株式会社JAL JTAセールス 取締役執行役員 神山 和巳

『「やんばる電気バス事業」を通じた「地域循環共生圏」の創出』(20分)

・伊江島観光バス株式会社 代表取締役 山城 克己

『国内初の大型観光EVバス導入による観光産業との連携』(20分)

(4) 事業用CEVの導入に関する支援策の紹介

運輸部車両安全課・企画室(20分)

(地域交通グリーン化事業、地域一体となった観光地の再生・観光サービスの高付加価値化事業等)

3. 開催方式

オンライン（後日、お申し込みいただいた方にURLを送付いたします。）

4. 参加申込方法

令和4年4月19日（火）までに、下記URLからお申し込みください。

申込先：<https://forms.gle/PKZadLt9XreACCXh8>

※「Internet Explorer」非対応のため、それ以外のブラウザ（「Google Chrome」、「Microsoft Edge」など）にてアクセスをお願いします。

※アカウントの制限が200となりますので、申し込み人数によっては調整させていただく場合もございますのでご了承ください。

5. 費用：無料

【お問合せ先】

沖縄総合事務局

運輸部カーボンニュートラル推進チーム

担当：伊波、藤井、安慶田、金城

TEL：098-866-1812

Mail:unyu-kikaku.j2a★ogb.cao.go.jp

（「★」を「@」に置き換えてください。）

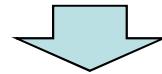
事業用CEV※の活用モデル構築のイメージ

※ CEVとは "Clean Energy Vehicle" の略で、日本語ではクリーンエネルギー自動車

離島を含む沖縄のローカルコミュニティにおいて、自治体や観光事業者等、複数の関係者が交通事業者と連携して、電動バスやグリーンスローモビリティ等の事業用CEVを観光振興や環境保護等に活用するモデルを構築することにより、事業用CEV導入の付加価値を高め、地域交通におけるCEV化を推進する。

現状

- ・化石燃料を使用することによる自然環境の悪化
- ・外部からのエネルギー輸入による地域からの所得の流出



長期的に交通・観光を持続することが困難となってくる。

CO2排出削減への貢献！



※写真出典：伊江島観光バス（株）
環境省、新報トラスト（株）

観光

事業用CEV

交通

環境

事業用CEV導入を通じて「交通」を「観光」「環境」と連携させることにより、地域に貢献できる付加価値を創出

観光地の魅力向上と交通事業者の高品質化の両立を図る

目標

- ・自然環境の保護による持続可能な交通・観光の維持
- ・電気を使用することによるランニングコストの低減
- ・災害時等における非常用電源としての利用
- ・地域で生産された再エネ利用による地域の所得の増加